

〔支店紹介〕

この度、漢方の本草閣緑店がオープンいたしました。これで支店も2店舗となりました。本店ともどもよろしくおねがいたします。

和漢・漢方の本草閣 緑店

☎458-0037

名古屋市緑区潮見ヶ丘2-320

店長 北川 正廣

(営業時間 AM10:00~PM7:00)

(年中無休)

TEL 052-895-4982 FAX 052-895-4910

和漢・漢方の本草閣 西春店

☎481-0033

西春日井郡西春町大字西之保

字青野東35

店長 早川 浩次

(営業時間 AM10:00~PM7:00)

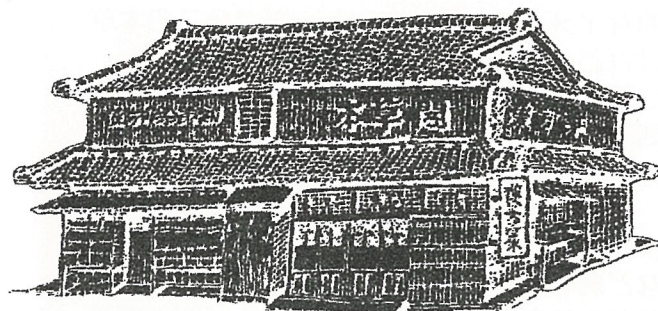
(定休日 毎週日曜日)

TEL 0568-24-6480 0568-24-6481

FAX 0568-25-6551

本草閣

かわら版



平成11年4月15日発行

(偶数月の15日発行)

☎460-0012

名古屋市中区千代田5-21-17

漢方の本草閣内

「本草閣かわら版」編集部

編集責任者 水野 英章

TEL 052-241-3388

FAX 052-251-3294

ホームページ

http://www.ijnet.or.jp/HONSOUKAKU/

第36号

身近にある雑草・薬草を

食べてみませんか!

下記の如く雑草・薬草の天ぷらを食  
べよう会を開催致します。美味しい玄  
米と一緒に味わいましょう!

平成11年4月29日(みどりの日)

昼12時より1時30分

名古屋・鶴舞 漢方の本草閣

西駐車場にて

(雨天の場合一薬饅ビル2階)

講師 牧田 都壬子姓(雑草・薬草食法)

会費 志(¥.500.以上)

※ともに連絡先は、P-TEL:090-3156-1883 林まで

「若者の集い」のお知らせ

若者どうし集まり、いろいろな悩み  
事を話し合ひましょう。熟年の林が司  
会進行いたします。

第4土曜日の午後7時より9時まで

薬饅ビル3Fにて

会費 ¥1,000

対象 10代・20代・30代の男性、女  
性

《行事予定》

	日時	担当者
★漢方講演会	4. 26 (月)	浮亀 浩
(毎月4曜)	5. 24 (月)	林 馨史朗
PM1:30~PM3:00		
(会費 有料)	会場 中日文化センター)	
★本草閣講演会	5. 20 (木)	林 馨史朗
(毎月3曜)	6. 17 (木)	渡辺 浩二
PM2:00~PM4:00		
(会費 ¥500)	会場 本草閣薬饅ビル)	
★何でも花草会	5. 11 (火)	林 馨史朗
(毎月1曜)	6. 1 (火)	"
PM1:30~PM3:30		
(会費 ¥500)	会場 本草閣薬饅ビル)	
★753会(俳句・川柳素人の会)	4. 27 (火)	林 馨史朗
(毎月4曜)	5. 25 (火)	"
PM1:30~PM3:30		
(会費 ¥500)	会場 本草閣薬饅ビル)	
★ささやか文化祭	5. 1 (土)	端午の節句
【御買い上げの際、節句に因んだ品物を 進呈いたします。】		
★薬草観察会	5. 30 (日)	別記参照
★若者の集い	4. 24 (土)	別記参照
	5. 22 (土)	"



《編集後記》

今回、クイズのご応募に御意見・御感  
想をお書き添えいただきました。それを  
いくつか紹介させていただきます。

まず、いろいろな行事を午前に開催で  
きないかという御意見がありました。諸  
事情により午後に開催のものばかりなの  
ですが、これにつきましては、一度検討  
してみたいと思います。

又、実際にお店に入ってみたところ、  
持っていたイメージとずいぶんと違っ  
ていたという御意見がいくつかありました。  
今回実習生のレポートにもありますが、  
漢方薬局といいますが、どこか暗く陰湿  
なかんじがあるかもしれませんが、実際  
の店内は明るく、気軽に話しをできる雰  
囲気です。西春店、緑店と支店も2つあ  
りますし、お近くの薬局にお気軽にご来  
店ください。

〔かわら版編集部 水野、近藤〕

心療相談室開設のお知らせ

漢方の本草閣が、病で切ない思いをされておられる方々の為に、心療相談室を  
開設致します。

「病は気から」「気は心」との言葉があります様に、病と心の因果関係は切っ  
ても切れない絆で結ばれています。本草閣の永い歴史を紐解いて見ますと、漢方  
(薬)だけで病が癒されるものではなく、そこには、薬を調合する者の心と薬を  
用いる人の心との信頼が最も大切であり重要である事が記されています。

時代の流れと共に、此の「病と心」の結び付きが軽視され、病気は医療で治す  
という現代医学の方程式が主流になり、病で患っておられる人達の切ない心を無  
視して「医術は算術」とまで言われるように、その本質が問われるに至ってしま  
いました。

本草閣は、江戸時代の創設から今日に至るまでの過程を振り返り、病と心、病  
と薬の在り方についてを、十数余年に渡り私共の知り得る限り知識と資料を元に  
研究を続けて参りました。そしてその結果として、病を癒す為にはまず心を癒す  
ことであると悟り、心の薬、心の診療こそを重要と考え、病のために心療相談室  
を開設致しました。まずは下記のところまでお電話ください。

(要予約) P-TEL:090-3156-1883 林まで

- ・自らの生き方を変える事によって病が治った例・住居を変える事で病が治った例・宗教を止める事で病が治った例・夫婦喧嘩、親子喧嘩で生じた病・
- ・病院や医者を変えたら治った例・病院や医者を変えたら悪くなった例・公害や薬害による病・加持祈禱で病が癒えた例・加持祈禱を行って病んだ例・
- ・医者や薬を拒否して治った例・医者で治らない病が信仰で治った例・食生活を改善する事によって治った例・良き友人ができて治った例・よく話をする様にな  
り治った例----等々

営業時間変更のお知らせ

来る6月1日より営業時間が下記のように変更になります。

午前10時より午後7時まで

何かとご迷惑をおかけすると思いますが、何卒よろしくお願  
い申し上げます。

今年も2名の実習生の方が薬局に訪れました。彼女らには本草閣はどのように映ったのでしょうか。その感想報告としてレポートを書いてもらいました。



## 薬局実習を終えて



名城大学薬学部 医療薬学科4年 加藤 麻里

私は今まで漢方というと、暗い調剤室の中で生薬をすり鉢でゴリゴリつぶしているだけという、どちらかというとマイナス的なイメージを持っていた。だからこの本草閣に実習が決まったときも興味はあったけれど、少し複雑な気持ちだった。

しかし実習が始まるとまず店の忙しさに驚かされた。のんびりしたイメージは全く無く、次々とお客さんが訪れ、先生方は問診に調剤にと大忙しだった。そんな中で私は生薬名を覚え、その漢字の難しさに苦労させられながら、少しずつ調剤もさせてもらえるようになった。

病院は患者さんそのものを診るというより、病名を解明することに重点を置くが、漢方は患者さんの性格、体質、生活習慣など患者さんに関する全ての事を聞いて、患者さんという人間そのものを診断する。だからその人に本当に合う薬ならば副作用が現れることはないそうだ。そう考えると漢方というのは、とても理想的な医療のあり方なのではないかと思う。

実習を終えて、漢方というのは奥が深く、一筋縄にはいかないけれども、とても興味深いものというイメージが変わった。これからはもっと世間に広めていき、多くの人に利用してもらいたいと思った。私が以前持っていたようなイメージを持っている人はきっと大勢いると思うが、このような人達にも是非漢方の素晴らしさを教えてあげたい。もし実習に来なければ、一生漢方に関わることもなく、暗いイメージのまま終わっていただろう。だから、この実習をすることによって、漢方のイメージが素晴らしいものになって、自分にとって本当にプラスになったと思う。

名城大学薬学部 医療薬学科4年 河村 理沙

西洋医学が中心である今の医療の中で東洋医学(漢方)のよさを知る人はどれほどいるだろうか。薬学部に通う学生でさえも、その良さを知る人は少ないと思う。私も本草閣にて実習でお世話になる前まではその例外ではなく、それどころか漢方に興味をもつ人に対して、漢方のどこがよいのだろうと疑問を抱くほどであった。

しかし、私の学校では、薬局で実習するというカリキュラムが存在する。私は調剤薬局でアルバイトをしたことがあったので、同じようなところを選んでもおもしろくないという、ただそれだけの考えで漢方薬局つまり本草閣を選ぶことにした。ところが大正解だとすぐに思った。漢方には西洋医学にない素晴らしさがあり、私はその中でも病名に対して薬を出すのではなく患者個人に薬を出すという点がとても気に入った。また、薬剤師的な立場から見ても、薬剤師として働く場の中で一番やりがいのある場所ではないかと、私は本草閣で働く先生方を見ていてとても痛感させられた。というのは先生方の相談の様子を見ていると、薬剤師でありながら、時には医師、時には看護婦のような役割を果しているように私には見えたからだ。また実際に先生方と話をしてみても、どなたもやりがいを感じていると答えてくださるから、このような先生方に相談できる患者さんたちは幸せだと思う。

今回、本草閣で実習させていただいたおかげで、今後誰かに「漢方をやってみたいのだが」と言われたら、何の迷いもなく「ぜひ一度やってみてはどうですか」と素直に答えることができると思う。また自分自身でも漢方の知識というものをもっとつけていきたいと考えている。

## 薬草観察会 開催のお知らせ

恒例の薬草観察会を開催することとなりました。自然の中にある薬草を皆様と一緒に観察したいと思います。温泉に入ることのできる所にも立ち寄る予定です。

皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

記

日時 平成11年5月30日(日)  
午前7時45分 本草閣薬局本店前集合  
午後5時00分 解散予定 (小雨決行)

行き先 関が原・伊吹山のふもと  
会費 7,000円(弁当、バス代を含む)  
申込み 本草閣薬局 ☎052-241-3388 (担当 水野)



## 薬草ウルトラクイズ



★テーマ：春の花 (出題者：本草製薬(株)・吉田 将士)

★問題：春に咲く花は多いですが、薬草や薬木でもレンギョウ、コブシ、エンゴサク、サクラ、サンシュユ、などがあります。次の3つの中で春に黄色の花をさかせるものはどれでしょうか。

- A. オミナエシ
- B. レンギョウ
- C. コブシ

\*A~Cより解答をお書きのうえ、下記のところへご応募ください。FAXでも結構です。  
☎460-0012  
中区千代田5-21-17  
漢方の本草閣 近藤宛  
FAX 052-251-3294  
\*正解者の中から抽選で記念品をお贈りします。尚、解答と解説は次号に掲載させていただきます。

★前号の答え：A(コブシ)

コブシの蕾は辛夷(シンイ)と言い、漢方薬の辛夷清肺湯などに用いられます。この漢方薬は慢性鼻炎や蓄膿症に用います。

★ご応募を多数お寄せいただき、ありがとうございました。また今回は貴重なご意見をお書き添えいただき大変参考になりました。感謝の意味もこめまして、ご応募全員の方に健康茶をお送りいたします。

尚、今回ご応募いただいた中で住所・名前の記載の無いものがありました。消印は西尾南になっております。心当たりの方は編集部までご一報ください。

### 俳句紹介

梅	ぬ	春	い	沿	芽	春	山	一
の	か	愁	っ	道	柳	彼	里	目
香	る	や	せ	は	に	岸	の	つ
の	み	い						つ
	て	人	に	バ	命	だ	渥	型
か	こ	ひ	餌	バ	の	ん	榮	型
す	草	履	人	に	原	吹	ご	に
か	履	人	に	欲	宿	き	だ	編
漂	ぐ	に	欲			ん	ん	み
う	っ	る				ご	る	し
	し	ま	鯉	春	頂	と		
風	よ	ぎ	や	春	彼	き	そ	夫
の	り	れ	岸	岸	ぬ	ぬ	買	婦
庭	お	り	水				わ	傘
	寒	も	温				さ	
	ど	り	む				れ	

千

鉦 譽 雅 博 代 悦 淳 康 正  
子 子 子 子 子 子 子 子 子